

アンセムを作ろう!!

連載最終回

曲をMIXして 仕上げる

「リスアニ!のテーマ」を作曲せよ——というお題のもと、ミューズ音楽院に協力を仰ぎ、同校講師「ジョージ」山本先生と音源制作に励んできた本連載。前回までに作曲とアレンジのイロハを知り、そして最終回となる今回は……音源の「MIX作業」を学びます。MIXとは、簡単に言えば音源を「整え」「演出」することで、作業的にはエンジニアの領域。どうぞ最後までお付き合いください!

文●西原史顕(リスアニ!) 撮影●小島マサヒロ

本連載で制作した音源はミューズ音楽院のHPで試聴できます!
もちろん最終MIXバージョンも公開!

→<http://www.muse.ac.jp/> トップページ下段、「アンセムを作ろう!!」のバナーをクリック!

どんな音でクライアント
を納得させるのか

「リスアニ!のテーマ」の制作が始まってからはや10カ月……ついに来た! 最終段階! 世の中の楽曲はたいして、MIXという作業を経て発表されている。上記のとおり、MIXで仕上がる音には、エンジニアの個性、技量が多分に表れる。そこで山本先生は、「何より基準を設けることが大切」と話してくれた。「どんな音にしたいのか」——これはエンジニアにMIXを発注する者が、最低限持つべき指針だ。

というわけで、今回の「リスアニ!のテーマ」は、かっこいいクラブ系サウンド。に仕上げたいと思っている。というのも、ピアノ、ストリングス、ギター、メロディを支えるシンセ・ベース、ドラムこそが、この曲のミソだからだ。ここが太くて強いと、ライブのオーブニングSEに相応しく、お客さんをタテ乗りさせることができる。この曲はある意味聴かせるのではなく、乗ってもらうことが目的なのだ。

山本先生のコンポーザー基礎講座から始まったこの制作。途中、コンポーザーの大川茂伸氏や作曲・作詞家の富田曉子氏を招いてアドバイスももらい、7月のライブ「リスアニ! RECRUIT vol.01」では実際にオーブ

STEP 8 2011年10月

音源を“MIX”するとは?



音楽は、言ってみれば音の組み合わせ。ある一曲を構成しているのは、ギターなりベースなり、あるいは効果音なりの様々な楽器や手段によって鳴らされた音たちだ。今回制作した「リスアニ!のテーマ」も、例外なく各種複数の音によって構成されていて、それは各パート(トラック)に分けられる。音源を「MIX」するとは、そうしたトラックを一つひとつ微調整して、楽曲の全体のバランスを整えることを指す。近年は、その作業はPCで行うのが常。代表的なソフトに「Pro Tools」があるが、本企画では作業環境によって「DAW」(※)を使い分けている。「リスアニ!のテーマ」のトラックを別表にまとめたので、ぜひチェックしてほしい。

STEP 9 2011年10月

音源を“整える”=TD音源A



トラックの全体像を把握したあとは、「整える」作業。まず最初にコンプレッサーとイコライザーで「音量」「周波数帯域」を整える。キーワードは「周波数帯域」で、これによって音の高低、「縦の位置」が決まるのだ。CDを聴いていて、ある楽器の音がやけに「軽く細く」聴こえたり、「重く太く」聴こえたりする。そのバランスを操れるのが、この「周波数帯域」。「リスアニ!のテーマ」の音の仕上がりがイメージは「かっこいいクラブ系サウンド」なので、今回はバスドラとベースを少し太めにしてもらった。また、余計なノイズをカットするのもこの段階での作業だ。「整える」作業を終えた音源(TD音源A)をHPにアップしたので、ぜひ聴いてほしい。

音源に“演出”を加える=TD音源B

「整え」が終わったあとは、各トラックに「演出」を加える作業。これは単純なボリュームの上下になるのだが、曲がスタートしてから終わるまでの間(今回は約2分)、各トラックごとに変化させるポイントを何カ所にも設定できる。例えばストリングスは最初のAメロでは小さくしておいて、2回目のAメロのときに大きく目立たせようとか。これらのボリュームの「つまみ」の動きは、「オートメーション」というソフト機能で記憶させる。このように、MIXを行うエンジニアに許される表現の幅は意外に広い。MIXひとつで原曲とまったく異なる雰囲気にも仕上げられるのだ。「演出」後の音源(TD音源B)もアップしたので、TD前音源と聞き比べよう。

「リスアニ!のテーマ」の全音源ファイル名

- 【弦楽器系】STRINGS1~5(ストリングス) / GT-R(ギターR) / GT-L(ギターL) / BASS(シンセベース)
- 【打楽器系】BD1~2(バスドラ) / SN(スネア) / HH(ハイハット) / CRASH(シンバル) / CLAP(クラブ音)
- 【鍵盤系】PIANO1~2(ピアノ) / 【シンセサイザー系】ARP(シンセ・アルペジオ) / GAT(シンセ音) / PAD1~3(シンセ音)
- 【効果音】BOMB1~2(爆発音)



※この画像は制作途中のものです

ミューズ音楽院×リスアニ! 特別セミナー開催決定!

これまで山本委千夫先生と共に本連載を制作してきた「リスアニ!」副編集長・西原史顕が、「アニソンの業界について語る」セミナーを開催! 詳細はミューズ音楽院HPにて発表します!

INFORMATION

「音楽専門学校ミューズ音楽院」
「音楽専門学校ミューズ・モード音楽院」
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-19-9
TEL:03-3341-6607 FAX:03-3341-6680
◇URL=<http://www.muse.ac.jp/>
■学校説明会(ミニ体験授業つき)
11月12日(土)、19日(土) 14:00~16:10に開催
※予約・定員制、無料
■学校見学
9:00~16:00(土・日・祝日を除く) ※予約制、無料
■体験授業&1DAY AQ入学
10月30日(日)、11月27日(日)に実施。詳細はHPへ

PROFILE

ヤマモト「ジョージ」イッチオ 作曲家、アレンジャー、エンジニア、DJ……etc。'96年よりミューズ音楽院 音楽総合芸術科 コンポーザー・アレンジャー 専攻講師。

※DAW(Digital Audio Workstation)……デジタルで音声の録音、編集、ミキシングなど一連の作業ができるように構成された一体型のシステム。代表的なソフトに「Pro Tools」「Logic」「Cubase」「SONAR」など。